

## 沖縄県学校農業クラブ連盟大会

成功裏に終わる！！先生方に感謝。

第 65 回県学校農業クラブ連盟大会も、事務局の石嶺、会計の神谷、そして北農の単位クラブ担当 登川先生を中心に、企画・運営を行って頂き、全職員の協力の下、素晴らしい大会となった。このような大会を毎年開催していることは驚きだし、開催できていることに誇りを持って欲しい。

○技術競技（フラワー、家畜、測量）の運営も立派でした。担当された先生方お疲れ様。

○プロジェクト、意見発表の運営もとても良かった。農ク役員生徒も会長の長濱君を中心に良く動いてくれた。他の係（式典・受付・接待・アナウンス・駐車場……）の動きもとても良かった。指導して頂いた先生方、ありがとう。

○本校代表選手（技術競技、プロジェクト、意見発表）の生徒も堂々として立派な競技、発表であった。大会に向け、これまで時間をかけて指導頂いた先生方に感謝です。

○普通科の先生方にも全面的に協力を頂きました。ありがとう。

△「聞く態度」の育成が課題。本校のみならず、他校の生徒も同様の課題が見られる。居眠り、私語、いたずら、奇声を上げたり・・・

※我々教師側の指導の在り方（粘り強い指導）も再確認する必要があると感じた。

△技術競技、プロジェクト、意見発表で頑張ったにもかかわらず、最優秀賞が取れなかったことは残念であった。最優秀賞との差は何か、しっかり分析して欲し、次年度に向けた取組に期待したい。

・特にプロジェクトでは1～3年生まで、学年をまたいで生徒をかかわらせる。

・外部機関（教育センター、琉大農学部、県立農大、農業関連機関）と積極的につながる（智恵を頂きドバイスを受けながら実施する）ことが大事である。

△運営、生徒の研究・発表指導等において、一部の先生に業務が集中していないかと気になった。専門学科内で連携しチームワークで業務に当たることが大事である。

